

第7回練馬区独立70周年記念誌編さん委員会 会議要録

1. 日 時 平成29年1月26日(木) 15時30分～17時
2. 場 所 練馬区役所西庁舎10階西10会議室

【次 第】

- (1) 原稿見本・冊子見本について
- (2) 台割の確認について
- (3) 別冊付録案について
- (4) 「ねりまのれきし(仮)」(動画)について
- (5) その他

3. 参加委員

委員長	齊藤 睦	専門調査員
副委員長	黒田 叔孝	副区長
委員	矢島 一	歴史写真研究家
委員	市村 保	区長室長
委員	佐々木 克己	企画部長
委員	小西 将雄	総務部長
委員	木村 勝巳	地域文化部長
委員	大羽 康弘	教育振興部長
委員	市橋 歩	区長室副参事(広報戦略担当)
委員	小金井 靖	文化・生涯学習課長
委員	杉本 圭司	情報公開課長

4. 発言内容

委員長

それでは、ただいまから第7回練馬区独立70周年記念誌編さん委員会を開催いたします。委員の皆様、お忙しい中をご出席いただき、ありがとうございます。

それでは、本日の議題に入ります。本日の議題は、(1)原稿見本・冊子見本について、(2)台割の確認について、(3)別冊付録案について、(4)「ねりまのれきし(仮)」動画について、(5)その他、以上の5件となっております。

では、まず(1)原稿見本・冊子見本について始めていきたいと思っております。それでは、JTBパブリッシングの編集担当の方に説明をお願いします。

JTBパブリッシング

原稿見本・冊子見本の説明をさせていただきます。本日席上にお配りの原稿見本と冊子見本をご覧ください。まず、冊子見本では、同じ内容を用紙を変えて印刷しております。写真の光沢でお分かりかもしれませんが、テカリが見えるのがコート紙、インクが沈み気味なのが嵩高紙(かさだかし)です。合わせて、b7トラネクストというA4判の用紙見本をお配りさせていただいております。前会議でお見せした東見本はコート紙で作成いたしましたが、事務局から軽くしたいとのご希望があり、今回の嵩高紙をご提案いたしました。天候の加減か、紙は水分を吸いこみますので、今回の東見本では軽くなりませんでしたので、ひとつ軽い用紙に変えたいと考えております。

また、原稿見本として商店街、消防団、年代別会議をご用意いたしました。前会議で、練馬区立美術館のデザイン見本をお見せいたしました。書体を明朝体とゴシック体の組み合わせで組んでいます。年代別会議は、アクセントとして色背景でフリーデザインで構成いたします。今回はあくまで原稿見本ですが、これから始まる初校もこのような状態で各所管にご確認を入れることになります。

嵩高紙は昨今のトレンドであり、コート紙と同じ仕上がりで、軽さ・厚さを出せる用紙です。記念誌の本文用紙をコート紙か嵩高紙かどちらにするかをお決めいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長

コート紙の方が光っていますね、最近の傾向は嵩高紙ですね。

区長室副参事

決定する内容について質問をしたい。JTBとしては、コート紙で進めたいが前回提出した見本誌の重さが許容できるか?なのか、嵩高紙に変えたが、もう一つ軽い嵩高紙に変えたいのか?出版社のプロとしてどちらが良いのかをお聞きしたい。

JTBパブリッシング

前回コート紙で束見本をお作りしましたが、委員長・事務局より重いというご意見をいただき、対策として同じ質感で軽い紙があり、弊社でもタビハナというガイドブックシリーズで使用していますので、嵩高紙に変更という方策を提案いたしました。印刷を試みましたが、軽くならなかったため、一つ軽いクラスの用紙に再変更したいという提案です。記念誌なので一般的なコート紙で問題はないと考えましたが「軽くしたい」とのご要望が入りましたので「昨今のトレンドである嵩高紙では如何でしょうか」という流れです。嵩高紙で束見本を作りましたが、計算通りの軽さにはならず申し訳ありません。もう一つ軽い紙を使った製品を持ってまいりましたので、恐れ入りますが回覧でのご確認をお願いいたします。ページ数が144pで375gですので、記念誌はほぼ倍くらいの重さになります。750gから770gの重さになるかと考えます。

委員長

私が考える「軽い方が良い」という理由ですが、今の時代は取扱いしやすく、手に取りやすく、親しみやすい方が良いという考えです。

文化・生涯学習課長

嵩高紙で裏映りしない限界がこれだと踏んだわけですか。

JTBパブリッシング

そうです。

副区長

重さの話と、見易さが問題で、コート紙は文字が光ると見にくく、嵩高紙の方が見やすい。

情報公開課長

本文は嵩高紙で地図はコート紙という区分けは可能でしょうか。

JTBパブリッシング

可能です。

委員長

昔はアート紙が普通で、もっと光っていました。時代は嵩高紙的な見え方が良くなってきた感じがします。軽さの点で、嵩高紙の薄い方で如何でしょうか。異議がなければこれで進めましょう。

委員長

続いて（２）台割の確認についてです。では、編集担当の方、台割の説明をお願いします。

JTBパブリッシング

では台割について説明させていただきます。資料２が現在の台割です。第５回編さん会議で議論した台割から修正しています。１枚目の右側に別冊付録の台割を加えております。これからの初校提出予定月もページの色分けで表現しておりますが、すでに変更があります。都市農業と 88-89p が 1 月提出から 2 月末予定になりますので、1 月提出分が 70p、2 月提出分 129p になります。取材先についてもまだ未実施もある状態ですが、1 月 26 日現在の状況です。第 5 回編さん会議時より都市農業部分が 4p 減り、みどりのまちづくりを含む歩き体験する部分が 6p 増えております。このまちで暮らすことも 6p 増えており、未来が 3p 減っております。ほかの項目は当初予定していたクッションページで調整しています。

委員長

都市農業にページボリュームがありましたが、全体のバランスが取れました。台割についてご質問・ご意見如何でしょうか。

総務部長

世界農業サミットはこれからのことなのに記事が書けますか？

JTBパブリッシング

都市農業課に取材しております。現時点で判明していることを記事にします。世界を連想させるビジュアルを仕掛けています。テキストでは世界農業サミットがなぜ練馬で開催されるのか、どういうことを目指しているかを書いています。

区長室副参事

「みどりの風吹くまちへ」を目指しているのだから、都市農業の位置を後ろに変えられないか。たとえば、みどりのまちづくり進行中の部分と、物理的に入れ替えられますか？みどりのまちづくりが先にあった方がインパクトがあるのでは。

JTBパブリッシング

物理的に入れ替えるのは可能ですが、作業量が増えます。道路・公園の紹介が弱い部分があるので、都市農が充実した内容なので、丸ごと頭に持っていくのは弱くなる。みどりのまちづくり進行中の要素を 48-49p の扉に入れるのは如何でしょうか。

委員長

4p 単位ならば入れ替えは可能だが、区長への説明とかで順序・内容説明の経緯があるので、この段階で入れ替えるのは問題が出てくる。

区長室副参事

了解しました。

矢島委員

今と昔で作物が違っています。現在は練馬区の畑は広大な面積を持つ場所がなくなりました。畑と区民農園はどちらが広いのでしょうか。

委員長

農業を営んでいる面積の方が多いです。区民農園・市民農園のニーズがあるので増やしたいのですが、まだまだ農業面積の方が多いです。国も都市農業振興基本法を出して、都市部から農地を減らさない対応をしています。

副区長

さきほど、みどりのまちづくりの取材が苦戦しているというお話でしたが、取材は何時の時点で終了ですか。3月の下旬に写真を撮影し本誌に反映することは可能ですか。春日町の桜、中村橋の桜がこれから撮影できます。

委員長

苦戦といった意味はどのようなことでしょうか？ストーリー的なことですか、景観ですか？

JTBパブリッシング

最初はストーリー的なところで苦戦しました。景観的に良いなと思ったところが都道で区道として整備が始まった補助132号線は、まだみどりが少なく、ビジュアルが厳しかった。

副区長

みどり豊かな道路だよというところが伝わればよいので、区道でも都道でも良い。

JTBパブリッシング

練馬区のご担当者様に取材していくと「都道については都に確認してください」という話になったため、区道で撮影を行った結果、ビジュアルが厳しい状況になりました。

委員長

担当者にヒアリングして紹介していただいているのでそういうことがある。

副区長

光が丘の外周は区道です。完成形で作ったので、みどりにあふれている。マラソンの時にこぶしと桜が咲いている。

JTBパブリッシング

初校を見ていただき、みどりが足りないというのであれば、可能なものは差し替えます。

委員長

出来上がったものに、こういう内容が足りないとか、こういう視点が足りないとかが出てきそうで怖いですが、台割の確認をいたしました。

続いて（3）別冊付録案についてです。では、編集担当のお二方、別冊付録案の説明をお願いいたします。

JTBパブリッシング

別冊付録案ですが、まずは地図部分を説明させていただきます。全図と分図1を印刷したものををご用意いたしました。こちらも同じく用紙を変えて印刷しております。地図だけでは、コート紙も嵩高紙も差異が感じられないかもしれませんが、掲載内容が適当であるかどうかをご判断していただきたいと考えております。

地図凡例にもある通り、全図は便利帳の全図並みに物件を落とそうと致しましたが、時間的余裕がなく、地域集会所・児童館・幼稚園・保育所がまだ地図に落ちておりません。幼稚園・保育所はマーク表示、地域集会所は文字もあるので分図紹介にしたいと考えます。

分図1では、まち歩き観光マップ・農産物直売所マップ・文化財案内・ねりまの散歩道から全ての物件を落としております。これから本誌に掲載する取材先を落とすことになりません。

用紙ですが、本文と別冊の用紙を変えることについては問題ありません。これから説明する塗り絵との関連でご議論いただければと考えます。

塗り絵については、資料4をご覧ください。

全体で5pです。12p13pで未来の練馬区予想図、14pは祭りをテーマに照姫祭りと練馬薪能、15pが大根、16pが豊島園のメリーゴーランドで、メリーゴーランドの実例を出させていただきました。塗り絵の下に物件の説明文を加える予定です。

12-13pの未来の練馬区予想図というのは、資料5の5ページ目の1コマ目のイメージです。

15pの練馬大根も資料5の2ページ目の3コマ目をイメージしています。塗り絵として塗りやすく、実写ではなくユニークな要素を入れたものと考えています。

総務部長

地図ですが、出張所を廃止するので掲出方法を検討したい。こども園は必要か？

委員長

現在の名称で校正を出しますので、区側からご指示をお願いします。

用紙の問題ですが、見た目感じコート紙の方がきれいに見えますがどうでしょうか？

副区長

塗り絵はどちらの用紙が適していますか？

JTBパブリッシング

どちらも色鉛筆で塗ることは出来ますが、一般的には塗り絵にコート紙は使用しておりません。ザラ付き感が必要です。

情報公開課長

別冊の中で、塗り絵は嵩高紙、地図をコート紙にする事は可能ですか？

JTBパブリッシング

16p単位で同じ用紙をお願いします。持ち歩きしますのです、薄いより厚い方が良いです。

委員長

それでは、別冊の用紙は嵩高紙の厚い方をお願いします。

JTBパブリッシング

塗り絵のテーマは大丈夫でしょうか？

文化・生涯学習課長

メリーゴーランドをデフォルメする際には、西武鉄道株式会社に確認をしてください。アールヌーボーの雰囲気ができるように。

委員長

西武鉄道株式会社がOKすればよいですね。気を付けましょう。この構成で良いですね。

続いて(4)「ねりまのれきし(仮)」動画についてです。それでは、編集担当の方から説明をお願いします。

JTBパブリッシング

電子媒体、アニメーションになります。テーマは練馬の歴史です。Nはナレーションです。音出しができない場合もあるので、テロップ対応も考えています。3万年前の原始人から豊島氏、豊島氏の居城跡地に豊島園がある。江戸時代の農業、練馬大根が生まれたころ、コミカルな印象を持たせる仕掛けをしています。近代化の流れを鉄道の発達で表現し、板橋区からの独立、現代につながる魅力としてアニメを出し、緑被率、高齢者支援、防災シーン、大きな樹の中に存在していき、牧場があり畑が広がっている。未来に続くという事のニュアンスとして豊島氏が馬に乗って天に去っていくようになります。最後に本誌につながる販促情報が入ります。ここまでで3分強を予定していますが、ナレーションの読むスピードで前後します。HPとか、区庁舎のモニターなどで表示されます。

情報公開課長

元々は本紙の付録として考えていましたが、今は販売促進の利用として考えている。

副区長

作業はどのくらいかかりますか？

JTBパブリッシング

3か月は必要ですので、3月には絵コンテとナレーションを始めたい。2月中にFIXしたい。アニメーションは制作に入ると修正ができないので、前段階でしっかり見て頂きたい。

総務部長

決め方をどうしますか？区長も関心があるところ。

委員長

2月という目途で、区長の判断を貰いましょう。

総務部長

2月中旬を目途にこのメンバーの了解を取りたい。スケジュールを詰めてください。

委員長

最後に、その他委員の皆様から何かあればお願いいたします。

地域文化部長

台割に町会・自治会の項目がたてられていない。今更で恐縮ですが、168pの防災で掲載していただけないか。

委員長

防災がらみの取り上げ方でよろしいですか？

JTBパブリッシング

1月末に初校がでますので、戻す段階で指示・取材先をいただきたい。

事務局

これから初校が順次出ます。各所管でご確認いただきますので、よろしくお願ひします。
表紙のタイトルとカバーデザインについて、4案ほど区長に説明しましたが、「くるりとねりま」というタイトルで風呂敷のイメージで提案した案をベースに再提案する予定です。

総務部長

初校について、担当者としてのチェックのほかに課長・部長のチェックも必要ですね。

委員長

取材の手順としては、各担当へヒアリングして紹介されて組み立てていったので、部長さんクラスにも情報公開課からしっかりお願いして頂きたい。

区長室副参事

練馬の一年という映像が来年仕上がります。

委員長

分かりました。以上で第7回編さん委員会を終了いたします。

以上